

南蒲生津波避難タワー概要

○施設概要

- ・所在地: 仙台市宮城野区蒲生字鍋沼40-9
- ・事業費: 約2億2000万円
- ・延べ面積: 285.04㎡
- ・地上からの高さ: 屋内避難スペース 6.6m、屋上避難スペース 9.9m
- ・津波への対応: 液状化現象の発生や津波の波力等を勘案し19.5mの基礎杭を打設
漂流物の衝突等も考慮した強固な構造
- ・構造規模: 鉄骨造2階建
- ・収容人数: 約250人

○津波避難タワー仕様



夜間停電時対策

夜間停電時にも避難がしやすいよう、屋上に太陽光発電柱を設置し、階段、スロープ、屋上を照らしています。また、カセットガス式発電機、LED投光器を備蓄しています。



車椅子等での避難者対応

車椅子等での避難に配慮し、スロープを設置しています。



外部との連絡手段の確保

避難時に仙台市の災害対策本部等と連絡が取れるよう、防災行政用無線機器を設置しています。



防寒・防風対策

防寒、防風対策として、外壁で囲った避難スペースを確保しています。また、毛布やカセットガスストーブを備蓄しています。



○屋内避難スペース仕様(3階相当の高さ)

避難時のストレスに配慮

避難時のストレスに配慮し、内部空間をアコーディオンカーテンで仕切ることができます。



高齢者等への配慮

広めのトイレ空間の確保や、ベンチの設置など、高齢者等の避難に配慮しています。



備蓄品の整備

- ・食糧、水、毛布
- ・救急セット、ラジオ
- ・発電機、投光器
- ・カセットガスストーブ
- ・簡易トイレセット
- ・防災行政用無線
- ・ロープ
- ・救命胴衣、救命浮環

